

この用紙は折ったり曲げたりしないこと。

「感染と免疫」小テスト③（令和元年5月15日分）

○学籍番号

2 0 1 9 2 0

→

7桁目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
8桁目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

□に数字を記入の上、右欄にマークすること

○氏 名 : ()

よいマーク : ●
悪いマーク : ○ ● ✓

○各設問において正しい選択肢を1つ選び、その記号をマーク欄にマークせよ。

問 題	自 習 欄
1. 免疫系が自己組織を異物と誤認することで起こるのはどれか。 ① がん ② 感染症 ③ アレルギー ④ 自己免疫疾患 マーク欄 : ① ② ③ ④	
2. 自然免疫において化学的バリアーと考えられるのはどれか。 ① 上皮細胞同士のタイト・ジャンクション（密着結合） ② 常在細菌叢による拮抗作用 ③ 気管上皮の線毛運動 ④ 胃液の強酸性 マーク欄 : ① ② ③ ④	
3. 抗体を産生するのはどれか。 ① 形質細胞 ② キラーT細胞 ③ ヘルパーT細胞 ④ マクロファージ マーク欄 : ① ② ③ ④	
4. 分子量がもっとも大きいのはどれか。 ① IgA ② IgD ③ IgE ④ IgG ⑤ IgM マーク欄 : ① ② ③ ④ ⑤	
5. 胎盤を通過できるのはどれか。 ① IgA ② IgD ③ IgE ④ IgG ⑤ IgM マーク欄 : ① ② ③ ④ ⑤	

欄外余白には何も記入しないこと（マーク読み取りに支障を来すことがある）。